

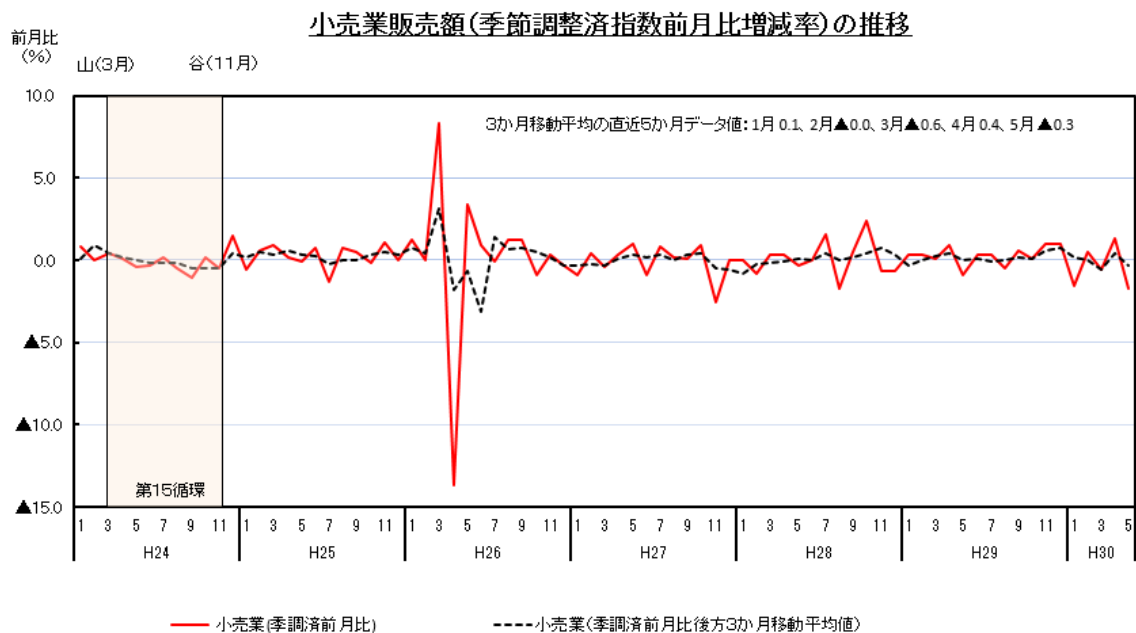
商業動態統計速報（平成 30 年 5 月分）  
 —横ばい傾向にある小売業販売—

平成 30 年 6 月 28 日  
 大臣官房調査統計 G  
 サービス動態統計室

当省公表の 5 月分の小売業販売額（税込み）を指数化し、季節調整を行った指数水準（平成 27 年=100）は 101.3 となり、季節調整済指数前月比は ▲1.7% の低下となった。後方 3 か月移動平均で前月比をみると ▲0.3% の低下となった。

後方 3 か月移動平均の前月比を個別の業種ごとにみると、各種商品小売業（百貨店・総合スーパー）が同 ▲0.6% の低下、飲食料品小売業が同 ▲0.3% の低下、燃料小売業が同 ▲0.1% の低下となった。一方、自動車小売業が同 0.8% の上昇となった。

これらを踏まえて、季節調整済指数前月比の 5 月までのトレンドでは「横ばい傾向にある小売業販売」とした。



注意：本基調判断を使用の際は、以下の点にご留意ください。

- ① 小売業販売額（平成 29 年名目：約 1 4 3 兆円）は、物価変動を含めた名目値であること。
- ② 小売業販売には、サービスの消費が含まれていないため、個人消費全体の動向を表すものではないこと（個人消費に占める財の割合はおおよそ 4 割弱）。